
壊れたのは恋？君？それとも僕？

こをり

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

壊れたのは恋？君？それとも僕？

【Nコード】

N2323P

【作者名】

こをり

【あらすじ】

機械に恋した少年のお話です

> i 1 4 7 2 9 — 2 0 4 6 <

ぴちゃん

ぴちゃん

水滴はまるで落ちることが望のように
地面に叩きつけられ広がり、蒸発する

それってさあ

ある意味拷問じゃない？

「ん、しょつと！」

長い長い階段のラスト一段を登りきったこの達成感は今、僕にしか
感じれないんだろうな

まあ、他の人に感じさせたくも無いけど

ガラクタばかり置いてある廃工場のだ真ん中

大きな目のリュックを背負いなおしつ、もう一度息を吸う

はあ、とさつき吸った新鮮とはいいがたい息を吐き出してから一歩
踏み出す

「あ、綺麗な花」

珍しい。

なんせココは廃工場1から9まで必要性が皆無のものばかり
おまけに鉄臭い

馬鹿になりそうな鼻を押さえながら花を摘み、うーんと奥にあるドアを開けうーんと遠くの部屋に入る
それが僕、宵津^{ヨイツ}の一つ目の楽しみ

ふわあと淡い光がこぼれるこの一室に僕の目的の子がいる

「むな、こんにちわ！」

むな、夢名、67。

それが彼女の名前、ってまあ肩に67って書いてあったからそれを擦っただけだけど

夢名はゆっくりと僕の方に首を動かし無機質な瞳で僕だけを写した彼女の銀色の瞳は僕のお気に入りだ

「夢名、今日は晴れだから早めに来れたんだ」

笑いながらそう言う夢名は僕の真似をするように目を細めた

夢名は機械だ、しかも未完成

口元には分厚い鉄が嵌められているからお喋りができない

しかも結構無表情だから楽しいのかつまらないのか区別が難しい

ま、そんなのもう慣れた

「ほら外に咲いていた花、夢名に似合うと思って摘んできたんだ」

夢名の頭を覆っているガラス盤に触らないよう気をつけながらそつと、耳（？）にかけてやる

青い髪に白い花は良く映えた

それから1時間ほど外の事、友達的事、怒られた事などを喋る

夢名は相槌もなにも言わない。けどいつも開いている目が閉じれば
終了

それが日に日に閉じる時間は早くなっていた

あ、今日はもうお終いだ

「前は半日でも大丈夫だったのに」

もしかしたら、夢名はもう・・・

「・・・僕夢名が好きなんだ」

僕は意気地なしだから君が眠った時にしかこの思いを伝えられない
と言っても起きていたところで何も返事なんてないんだけどね

「ロボットに、しかも未完成で今にも壊れそうなのにな」

君が喋れたらよかったのに

君が感情を持っていたらよかったのに

君が、普通の女の子ならよかったのに

でも君はロボットで未完成だからこそ、出会えたんだ

「夢名起きてよ、僕ね不安なんだ

君は明日も僕の話聞いてくれるのか、傍にいるのか

もし壊れちゃったらどうしよう居なくなっていたら・・・どうしよう、って」

好き、好き、好き

愛してるなんてたいそうな言葉は言えないけど

溢れてくる『好き』はどうしようもないんだ

しばらくしてからリュックを背負いもう一度夢名を見よう
振り向いた瞬間

ガシャン

「・・・え？」

夢名の、左足が？げた

それが合図のように次々と落ちていく

手が、腕が、羽が、口枷が

「夢名！夢名！起きて！」

大声で呼び必死に腕を引っ付けるがボロボロと崩れていく

夢名が、死んじゃう！！

「むなあ！目を開けて！僕を見て！居なくならないでえ！！」

すっ・・・とわずかに開いたお気に入りの銀色が僕を写した

むな！、喜びは一瞬夢名は初めて露になった口元を上げて目を細めた

わら、った？

バキィッ！！

「っ！！！」

派手な音を立てながら首が折れた

僕は夢名の頭を抱きしめ最後の笑みを忘れまいと必死に頭に焼き付けた

あっけないほどの終わり

一瞬で散った恋

さようならすら言えなかった

ぴちゃん

ぴちゃん

彼女の青い血液が滴り落ちる

水滴はまるで落ちることが望のように

地面に叩きつけられ広がり、蒸発する

「バイバイ、夢名」

この言葉を届けたかったなあ

ぴちゃん

ぴちゃん

（後書き）

支離滅裂ですね
ww

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n2323p/>

壊れたのは恋？君？それとも僕？

2010年12月1日06時17分発行